

こころとからだを育てる

和太鼓

～よく見る よく聴く よく考える～



社会福祉法人 福島敬香会 福島敬香保育園



【保育理念】「子ども一人ひとりのねっこを育てます」

～ロゴマークに込めた思い～

愛情いっぱい大地に根を張り、成長するなかで、自分の個性・友達の個性を大切に、それぞれの花を咲かせてほしい。

色とりどりの花や葉は、一人ひとりの個性を表現しています。

はじめに…

和太鼓の音は身体の深くまで響いてきます。音色からは体全体が包み込まれるような振動を感じます。和太鼓の響きは、子ども達の心を揺さぶり感性を豊かに育み、たくましいところと身体を育てる力があります。そして、演奏によって人を感動させることができ、演奏をみてくださる皆さんの笑顔や拍手を体感できるのです。

このような魅力あふれる和太鼓に夢中になれる…そんな毎日を大切に活動しています。

今までの経緯

- ・竹太鼓を使用し、「敬香太鼓」を夏まつりで発表
- ・平太鼓・宮太鼓を使用し「龍神太鼓」をお遊戯会や福島成蹊高校主催のふれあいコンサートで披露
- ・平太鼓9台・宮太鼓4台・締太鼓4台をそろえ、本格的に導入
- ・平成28年 全日本幼児教育連盟に講師を依頼し、園児(3.4.5歳児対象)・職員講習会を開催(年2回)
- ・全日本幼児教育連盟 日本太鼓指導者ライセンス3級取得(保育士2名)
- ・曲太鼓・創作太鼓「敬香まつりだいこ」「こどもばやし」の3曲を主に年間を通じて練習・披露している。

【園内行事での発表】

- ・夏まつり・運動会・発表会・和太鼓演奏会

【外部発表の機会】

- ・福島成蹊高校主催「ふれあいコンサート」
- ・町内会(腰浜町・上浜町・豊田町)敬老会・太鼓保存会・いきいきのつどい
- ・高齢者介護施設訪問(敬愛シニアガーデン・まちなか宝生園・シニアスタンダードハウス・ケアパートナー福島・特別養護老人ホームなごみ・デイサービスセンターおぐらじ)

令和2年度からはコロナ禍のため、地域交流・世代間交流の機会が作れず、交流や発表の場も激減しました。
なかなか触れ合う機会の少ないお年寄りや学生さんとの交流は、お互いに良い刺激にもなります。

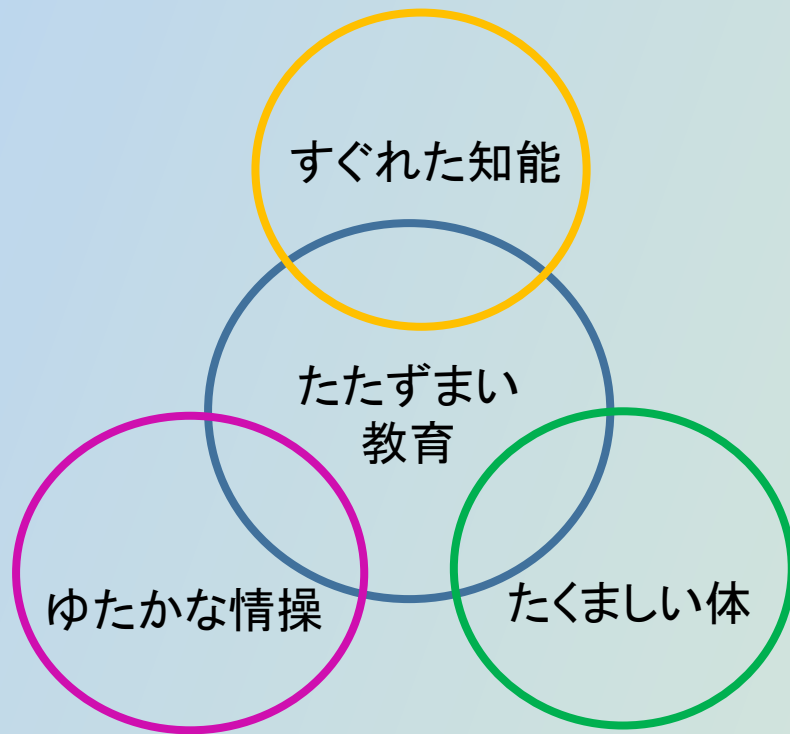
今年度は施設訪問や地域交流を積極的に行っていきます。

《挨拶・マナー・けじめ・忍耐力・協調性を培う「たたずまい教育」》

全日本幼児教育連盟が主唱する「幼児音体教育」とその基盤を成す「たたずまい教育」をもとに、和太鼓の練習に取り組んでいます。

たたずまい教育……人間教育の根源 「正しい姿勢」「美しい歩き方」「知性言語」「リズム感覚訓練」などを身につける。

目的を達成していくプロセスを通じて「たくましい体」「ゆたかな情操」「すぐれた知能」を兼ね備え、生き生きとした人間性豊かな子どもを育てることが目的。上手に叩くことが結果ではなく、発表に至るまでのプロセスを大切にして、「みんなで一つの作品を創り上げる心」を養う。





【和太鼓の目的】

- ・日本の歴史・伝統文化が学べ、豊かな表現力が身につく。
- ・音を合わせ、心を合わせることで協調性が身につく。
- ・全身運動なので、体幹が鍛えられ姿勢が良くなる。

♪和太鼓は身体作りができます！

手・足・口など身体の各部分を動かす様々な感覚をフルに活用します。手だけでなく心も身体も全部を使うので、心身共にたくましくなります。

♪和太鼓は協調性を養います！

リズムと動作をお互いに良く見たり聴いたりする力がつき、協調性を養います。音も動作もピッタリ合った時の一体感・達成感は最高の経験。

♪和太鼓は自信を培います！

「できた!」「楽しい!」という気持ちが次のステップの原動になります。人前で演奏し、拍手をもらうことは大きな自信に。『拍手はごほうび』

★指導のポイント★

- 挨拶や返事がきちんとできること
- 用具や楽器を大切に扱い、勝手な操作をしないこと
- ふざけたり、おしゃべりしないことを約束し、練習に集中すること
- すぐにできなくても粘り強く取り組むこと
- 先生の顔をよく見て話を聞き、開始・終了の合図を聞いて合わせること
- 練習の準備・片付け、用具の手入れ、掃除などを進んで手伝うこと

めざせ！基本的な所作！！

♪まずは約束！ 「よく見る よく聴く よく考える」

- ・背筋をのばしてバチをそろえ、気をつけの姿勢
- ・礼に始まり礼に終わるが基本

「よろしくお願いします」「ありがとうございました」の挨拶は、テンポよく歯切れよく心をそろえて言うこと

先生の顔をよく見て話を聞く

♪バチの持ち方・足の開き方・かまえ方の練習

- ・バチは軽く握り、端はいっぱいを持たずこぶ一つ分くらいあける
- ・足は肩幅より開き、左足を前方に一步出し、左ひざを曲げる

～まだまだ本物の太鼓は叩けません～

♪口唱歌

- ・リズムを声に出して歌ってみる

♪手拍子で打ってみる

- ・打つところ、休むところがわかるように手拍子で叩いてみる

♪新聞バチで叩いてみる

- ・新聞紙で作ったバチで、左右を確認しながらリズムを叩いてみる

自分の手や足がどうなっているか、よく考える



My新聞バチ(保育士手作り)



～やっと本物の太鼓を叩けるときが来た！！～

♪ 体の使い方を実際に叩いてみて覚える

- ・鼓面にバチが当たった瞬間にバチをしっかり握り、弾む力で跳ね上がるようにする
- ・余分な力を入れないなど、実際に体で覚える

♪ リズムを口で歌いながら叩く

- ・歌う・叩くという2つの動作を同時にする
- ・リズムを覚えたら、歌わずに正確に叩き、かけ声にも集中する

♪ 音を聞いて合わせる

- ・先生の下打ちのリズムをよく聞いて叩く
- ・友だちの音を聞いて合わせようとする

♪ 強弱・ポージングを意識する

- ・「音が1つに聞こえた」「少し早くなった」など音の違いがわかる
- ・かっこよくみせるにはどうしたらいいかを考える



保育園全員の【こころがひとつ】になる取り組み

小さい子たちは憧れの年長さんを よく見て よく聴いて よく考えて
まねをすることから始まっています



年長さんの練習風景や演奏を見ると、こぞって太鼓ごっこが始まる小さいクラスの子どもたち。太鼓は年長クラスだけでなく、様々な年齢のクラスの生活にも根付いています。完成した演奏だけでなく、小さいクラスならではの取り組みを発表する場も作っています！！



憧れの黄組さん 憧れの太鼓
あんなふうに叩けるようになりたいな...



新聞紙を固く巻いて作った新聞バチ・ミルク缶の太鼓・ウレタン製の柔らかい練習バチ...保育士たちのアイデア満載の練習風景。太鼓に対する意気込みは小さい子も職員も皆同じです！！



よく見る

普段の生活で・何気ない会話で・遊びの中で。子どもたちはいつも、よく見て、よく聴いて、よく考えています。

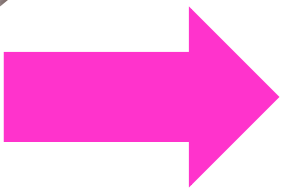


先生をよく見て



お友だちはどんな動きをしているのかな？

太鼓の取り組み



これなんだろう～？



【蚕さまの観察】

「先生見て！」
粘土で作ったものは...「おかいこさま」



なんか豆っぽい匂いがする！

昨年度収穫した枝豆を乾燥させて、豆植え。
カリカリの豆に興味深々。



イチゴの畑にアリさんがいっぱいいる！！
アリさんもイチゴ食べたのかな...



保育の中で

よく聴く



初めての講習会は「ドキドキ」
先生の話に耳を傾けて...



食育「きぬさやのすじとり」
給食の先生の話をよく聴いています。

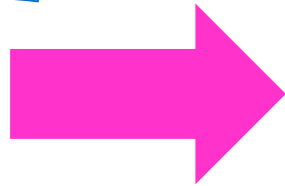


まなびタイムは真剣な表情



友だちの音をよく聴いて
先生の音をよく聴いて

太鼓の取り組み



ここに小っちゃい
葉っぱがあるよ。



友だちの話をよく聴く

保育の中で



ギザギザのところ
をビリってやるんだよ！

よく考える



右手と左手でジャンケン。



園庭でテントウムシをみつけた！
図鑑をみたら「ナナホシテントウ」
ということがわかりました。絵を描
いたり、折り紙を折ったり...



ステージ裏での一コマ
衣装の足袋を履くことに全
集中...足袋のツメって難し
いんだよなあ。

右手が勝つように？
ちょっと難しい...



足はどうなっているかな？ひじをしっ
かりのばすにはどうしたらいいかな？

太鼓の取り組み

保育士たちもよく見て
よく聴いて よく考えて...
子どもから学ぶことが
たくさんあります。



実物大の手と足を作ろう。自分の手形と足形を
書いていますが...右の手はどうやって書こう？

保育の中で

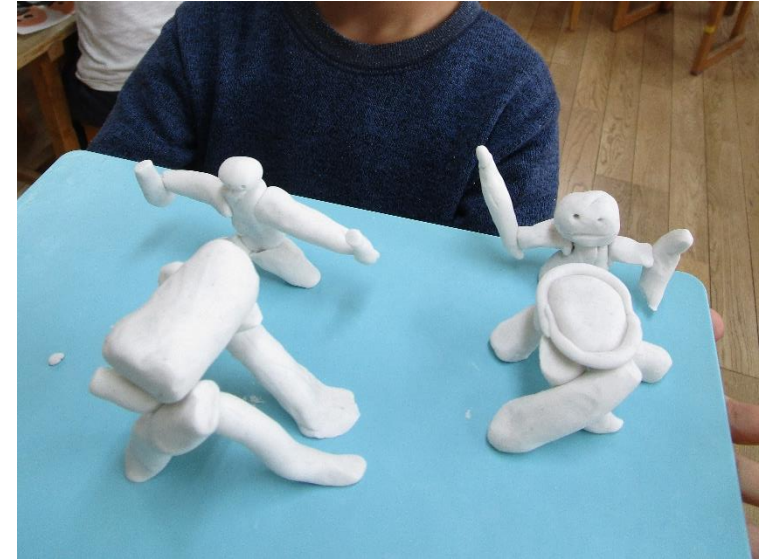


曲名『暴れるぜ』
「僕が考えた曲です。
先生を真似して3個の
太鼓を使いました。」

～お母さん曰く～
「お風呂で裸で洗面
器を並べて練習して
いた」そうです...



手作りの張り子の和傘で
パフォーマンス！！



粘土で作った超力作！『太鼓を叩く僕と先生』
「壊すの嫌だな～」

よく見る よく聴く よく考える



練習している遊戯室とは違う大きさのステージ。場所や立ち位置にちよつと戸惑ってしまいましたが、臨機応変に並ぶことができて大成功。



PR動画撮影は
「ちょっと緊張し
ちゃった」

古関裕而ってどんな人?? ~令和3年度の取り組み~

福島市出身の人で、「オリンピックマーチ」や「高原列車は行く」の歌を作った人なんだよ。

♪メロディーバスに乗って古関裕而記念館へ♪

「この歌知ってる!」と一緒に歌を口ずさんだり、ととにぎやかなバスの中。記念館では、静かに館長さんのお話に耳を傾けていました。



東京オリンピックの閉会式で「オリンピックマーチ」が!!
「先生! 昨日オリンピックマーチ流れたよね!!」
「オリンピックマーチ流れて嬉しかった」

大人になっても「東京オリンピックの年に、太鼓でオリンピックマーチ演奏したんだよなあ...」と覚えていてほしいな。



8月11日 古関裕而生誕記念行事にむけて「オリンピックマーチ」の和太鼓、「高原列車は行く」の歌などを練習してきましたが、残念ながらイベントは中止。保育園に保護者を招待して、オリンピックマーチを披露しました。

フープで五輪をイメージしたり、4歳児の可愛いポンポンダンス、フラッグのラインダンスなど、フォーメーションを変えて運動会などでも披露しました。



2月にはふくしん夢の音楽堂 小ホールで、和太鼓演奏会を開催。初披露の曲を含め、全5曲を披露。オープニングのオリンピックマーチで、もうすでに保護者さんの目には涙が.....

子どもたちと深める 地域・太鼓への興味

きっかけは5月の遠足

手作りのビンゴカードを持って
児童公園へ。フィールドビンゴで
街中散策の最中に、かわいいバス
停を発見！
「この音符なんだろう？」
「メロディーバス！？」
「黄組さんが乗ったやつ？」



「何か聞こえる～！？」
「この曲なんか聞いたこと
ある！」
タイミング良くメロディー
バスに遭遇！！

昨年度の黄組さんの和太鼓演
奏を聞いていて、耳なじみのあ
る古関裕而の曲。



歌ってみよう 踊ってみよう 叩いてみよう

高原列車はララララ
行くよ～♪♪



8月 古関裕而生誕祭で演奏予定

昨年披露できなかった『オリンピックマーチ』
2年分の思いを込めて、今年度こそ生誕祭を祝う曲を披露していきたい！！



10月 街探検を企画

駅前や古関裕而ストリート。街中にある「古関裕而ゆかりのもの」を
みつけよう！



メロディーバスに
乗ってみよう！！



和太鼓年間計画

4月	基礎作り	・挨拶・姿勢の練習バチの持ち方・かまえ方
5月	講習会	・基礎、曲太鼓の指導(4歳児は挨拶・リズム遊びなどの基礎)
6月	曲太鼓の取り組み	・流行曲、福島ゆかりの曲などに合わせての演奏を練習
7月	夏まつり披露	いよいよ太鼓デビュー!
8月	古関裕而生誕イベント参加 創作太鼓へステップアップ	・福島市イベントでコラボ ・太鼓のみで演奏する創作太鼓の練習開始
9月	施設訪問に向けた練習	・施設訪問に合わせての小規模編成、昔ながらの曲などを練習
10月	運動会での披露 地域との交流・施設訪問	・高齢者施設・町会イベントなどへの出張演奏 ・街探検(古関裕而ゆかりの散策)
11月	講習会	・創作太鼓の指導(3歳児はバチ遊びなどの基礎)
12月	わくわく発表会での披露	・4歳児も憧れの太鼓デビュー
1~ 3月	和太鼓演奏会開催 【バチ】移譲式	【魅せる演奏♪】 ・一年の集大成を発表 ・次年度への引継ぎ



福島市出身の作曲家・古関裕而に興味を持った子どもたち。子どもたちからの声を大切に、これから和太鼓の取り組みを通して、福島市コラボイベントへの参加や、地域交流、大きな会場での演奏会、積極的なPRなど、様々なことに挑戦していきます。

姿勢や挨拶などの立ち居ふるまい、心ひとつに目標に向かって取り組むこと、完成した時の達成感、人前で演奏することの緊張感、クラス全員で成し遂げた満足感……いろいろなことを経験し、和太鼓で学んだことは大きな自信につながります。

和太鼓は日々の小さな積み重ねが大切で、1日では完成しません。そして、自分ひとりだけができても成り立ちません。

『一人ひとりの頑張りが大きな一つの力になる』

～卒園式のお別れの言葉より～

『僕の夢は保育士になること。優しい保育士になって、敬香保育園で太鼓を教えたいです。』

そして、和太鼓は敬香保育園の伝統として引き継がれていきます。



合い言葉は【こころひとつ】